

松禪寺報

石室山松禪寺

住職 高橋 乾峰

〒 668-0363

兵庫県豊岡市但東町栗尾 469

電話 0796-55-0034

FAX 0796-55-0066

Mail kenpou@syozen.com

第 116 号

<https://syozen.com>

<https://www.facebook.com/syozenji>

発行日 令和 7 年 12 月 25 日

感謝を未来につなぐ「追善供養」

【特集】法事の真の意義とは？

故人への感謝を、より良い「生き方」に変える

法事は、亡くなった方々を弔うための大切な仏教儀式です。単なる形式ではなく、私たち残された者が故人への感謝を表し、自身の人生を見つめ直す、きわめて現代的な意義を持っています。

故人の存在が

「今の自分」を形作る

私たちが今、この場所で学び、働き、愛する人々と暮らしているのは、ひとえに先祖や故人の努力と愛情の積み重ねがあるからです。

法事は、故人が生前に提供してくれた「恩恵」（命のつながり、教育、愛情、そして築いてくれた社会基盤）に改めて気づき、深い感謝の念を捧げる場です。

感謝を未来につなぐ「追善供養」

仏教では、法要における読経や焼香、そして何よりも私たちが日々行う「善行」が、故人の極楽浄土での修行を助けると考えられています。これを追善供養と呼び



ます。

これは、「故人のために」という動機付けで、私たちが社会や他者に貢献し、より良く生きることが促す、非常に前向きな教えです。

追善供養の具体的な行動例

◎感謝を忘れないこと…日々の生活の中で故人を想い、正しい行いを心がける。

◎仏教の教えに触れること…法要での法話を通じて、心の持ち方や人生の知恵を学ぶ。

◎より良い人間になること…故人が大切にしていた教訓を守り、人として成長し続ける努力をすること。

法事を通じて深まる家族の絆

法事の意義は、故人への供養に留まりません。故人を偲び、親族が一堂に会することで、家族や親族の絆を再確認し、お互いの近況や健康を気遣い合う貴重な機会となります。

故人の生きた証を未来へ継承していくためにも、法事という場は、私たちにとって欠かせない時間なのです。

【結び】

法事は、悲しみを乗り越え、故人から受け取った「善」を、今を生きる私たちの「より良い生き方」へと昇華させる機会です。故人への感謝を胸に、今日からの人生を大切に歩んでまいりましょう。

お寺の一年を振り返りました

令和 7 年も残すところ数日となりました。備蓄米放出などの米騒動や、後半はクマ騒動と慌ただしく月日が過ぎ去った感じがいたします。では、松禪寺と花園会の令和 7 年を振り返ってみましょう。

【1月】

1日：修正会法要。年賀受け、午前10時より新年法要、約30人参拝。午後2時より桂昌寺にて新年法要。
2日、3日：年頭回礼で檀家さん89軒を訪問して祈祷札などを配布。

5日：玉林寺大般若祈祷会（山東町）

6日：遠方の檀信徒様へ祈祷札など郵送。

7日：慈照寺大般若祈祷会（山東町）。初薬師（薬師堂）

12日：瑞泉寺大般若祈祷会（和田山町）

15日：圓明寺大般若祈祷会（和田山町）

25日：松禪寺第1回総代会（総代6人、住職）

【2月】

2日：松禪寺評議員総会（評議員13人、総代6人、



▲微妙大師 650 年遠諱団体参拝＝6 月 11 日

住職）。令和 6

年度事業報告、

各会計決算、令

和 7 年度予算及

び事業計画、花

園会規約の一部

改正案を承認。

14日：山陰東教

区第2部部内会

（和田山町）、柴

田総代、住職出席。

席。

15日：桂昌寺総代会

22日：「松禪寺報」112号、「おかげさま」、花園会費徴収依頼を評議員宅に配布。遠方は郵送。

【3月】

2日：山梨教区寺院役員研修会

出講（富士吉田市）

20日：彼岸会（松禪寺）30人参拝。

午後8時より桂昌寺にて彼岸法要。

20日：妙心寺派定期巡教（松禪寺）「おかげさま 一日を新たに

ていねいに 仏道無上誓願成」

布教師・和田牧生師（広島県三

▲定期巡教＝3 月 20 日



▲定期巡教＝3 月 20 日

次市・鳳源寺）

28日：退任辞令交付（妙心寺派宗務本所）

【4月】

5日：楊岐院晋山式準備（豊岡市）

6日：楊岐院晋山式（豊岡市）

12日：山陰東教区監査会（和田山町）

27日：寶積寺晋山式（養父市）

【5月】

11日：常高寺晋山式（小浜市）

14日：書院トイレ洋式化改修工事、21日完了

16日：三和町仏教会出講（三和町・興雲寺）

18日：高流寺法事（大分県竹田市）

25日：第1回境内掃除、上山根、下山根、貝田、平田、中路、宮本、檉谷より19人参加。

25日：松禪寺第2回総代会（総代5人、住職）

【6月】

5日、6日：中高年出家者研修会（西宮市・海清寺）

8日：おたび（松禪寺）本城、柴地

11日：妙心寺遠諱団体参拝、松禪寺24人、桂昌寺5人。「金澤翔子展」観覧。

17日：山陰東教区第2部部内会（和田山町）

柴田総代、住職出席。

21日：「松禪寺報」113号配布

27日：新亡供養（妙心寺）柴田巧家、福田春彦家、岡畑真由美家参加。

9

10

11

12

13

14

15

16

【7月】

6日：薬師祭（松禪寺）、法要と茶話会、お供への餅配布。

18日：本堂本尊前の仏天蓋を修復に出す。

20日：「松禪寺報」114号、「桂昌寺報」16号配布

【8月】

2日：楊岐院施餓鬼会（豊岡市）

3日：第2回境内掃除（松禪寺）清滝、本城、柴地、大貝、佐田、石原、久畑より13人参加。松禪寺第3回総代会にて施餓鬼棚等の組立て。

4日：慧林寺施餓鬼会（和田山町）

5日：慈眼寺施餓鬼会（出石町）

5日：玉林寺施餓鬼会（山東町）

7日：松禪寺施餓鬼会、山門及び添え施餓鬼、新亡10霊、鶏魂供養。

8日：棚経、13日まで。

11日：願成寺施餓鬼会（出石町）

15日：清太院施餓鬼会（夜久野町）、東源寺施餓鬼会

（夜久野町）

16日：寶積寺施餓鬼会（養父市）、瑞泉寺施餓鬼会（和田山町）

18日：桂昌寺施餓鬼会（但東町）

（但東町）



▲本堂裏側の草刈り＝渡辺総代

20日：大同寺施餓鬼会（山東町）

24日：栗尾高年クラブ追悼会（松禪寺）

25日：天寧寺開山忌（福知山市）

26日：松禪寺法類寺院会議

3ヶ寺出席、齋会打合せ

【9月】

23日：松禪寺第4回総代会（総代6人、住職）

23日：彼岸会（松禪寺）35人参拝。午後8時より桂昌寺にて彼岸法要

25日：改修工事に先立ち本

堂位牌堂の位牌等を移動、

総代5人

26日：本堂位牌堂天井張替え作業開始（藤田建設）

【10月】

3日：本堂位牌堂へ位牌戻し、総代5人。

7日：本堂裏側の草刈り、渡辺総代

12日：専福寺住職継職奉告法要（平田）

21日：山陰東教区第二部部内会（福知山市）

【11月】

31日：除夜の鐘撞き（松禪寺）

11号配布

29日：餅つき（松禪寺）

31日：除夜の鐘撞き（松禪寺）



▲位牌堂天井改修に伴い位牌等に移す総代＝9月25日

1日：慈照寺宿忌法要（山東町）

2日：慈照寺齋会（山東町）

3日：達磨忌・開山忌（松禪寺）28人参拝。午後6時より桂昌寺にて達磨忌執行。

8日：山陰東教区寺院役員研修会（朝来市）総代6人出席。

14日：妙心僧堂但馬遠鉢、16日まで。

17日：本堂位牌堂仏天蓋取付け（松禪寺）仏

壇仏具やました

20日：人権研修（妙心寺派宗務本所）

23日：本城隣保地蔵講（松禪寺）

24日：瑞泉寺達磨忌（和田山町）

【12月】

3日：松禪寺第5回総代会（総代6人、住職）

12日：妙心寺開山忌（妙心寺）

24日：妙心寺派宗務本所仕事納め

25日：「松禪寺報」11号配布

29日：餅つき（松禪寺）

31日：除夜の鐘撞き（松禪寺）

感謝

感謝

感謝

感謝

感謝

感謝

感謝

感謝

感謝

感謝

感謝

感謝



彼岸のこの日 祖先の御恩を噛み締めよう

秋彼岸中日に法要を厳修 微妙大師六五〇年遠諱DVD鑑賞

彼岸中日を迎えた9月23日（秋分の日）、

松禪寺では秋彼岸法要を執り行いました。いつものとおり、朝8時半から当番さんたちには齋座のお弁当づくりをお願いしました。

また、午前9時半より第4回総代会を開き、本堂内陣（位牌堂）の天井改修工事について協議しました。



▲手作りお弁当、岡畑さんちのおはぎも。

午前11時、総代さんの撞く大鐘の合図で法要が始まります。35人の参拝があり、全員で読経、焼香をして先祖様に感謝の意を伝えました。読経後は、今年米寿を迎え



「今ここで 覚めたらそのまま彼岸」

られた方のお名前を伝えし、栗尾の柴田恵美子さんに寿詞と輪袈裟を贈り、参拝者全員で祝いました。

齋座は当番さんが調理していたいただいたお弁当を、参拝者全員でいただきました。

食事もいただいて満足した後は、微妙大師六五〇年遠諱のビデオを観賞しました。今年の6月にも遠諱団参を行いました。来年10月にも引き続き行方予定です。



引き続き行方予定です。祖先が残したさまざまな命と暮らしに、感謝したお彼岸会でした。



▲柴田恵美子様に寿詞と輪袈裟を贈りました

ご長寿おめでとう
妙心寺派花園会本部への申請により、米寿を迎えられる2名の皆さんに、妙心寺派管長・山川宗玄老大師より寿詞と輪袈裟をいただきました。併せて松禪寺花園会（護持会）から、寿詞を入れる額縁をそれぞれ贈呈させていただきました。誠にありがとうございます。

米寿のお祝いを伝達しました

◎米寿

栗尾 柴田恵美子様（昭和13年生まれ）

佐々木 榎本明様（昭和13年生まれ）

※お願い

お寺では檀信徒皆さま全員の生年月日を把握していません。今年米寿88歳を迎えられる同居家族が居られましたら、ぜひ住職までお知らせ下さい。数え年でお祝いをしています。が、年齢が過ぎていても構いませんので、ぜひ一報ください。お祝いの品を妙心寺派花園会本部へ申請いたします。

達磨忌と開山忌を執り行いました

禅宗の開祖・達磨大師と松禪寺開山開基大和尚の遺徳を偲ぶ法要



▲達磨大師像と開山及び開基和尚さまのご位牌

11月3日、当寺では恒例の達磨忌および開山忌を厳修いたしました。
檀信徒28名の皆さまにご参集いただき、静かで温かな雰囲気の中、祖師の御徳を偲びつつお勤めを行いました。
達磨大師は、禅宗の開祖です。南インドの小国の王子として生まれ、後に出家して菩提達磨と名を改めます。禅を伝えるために中国



▲当番さん手づくりの料理に舌鼓を打ちました

に渡り、洛陽の少林寺で面壁して坐禅すること9年に及んだと言われています。

また、当寺は来翁祖諱和尚大禪師を開基として、禪師の師である一笑禪慶和尚大禪師を勧請開山としています。

法要後には、毎年ご好評をいただいている当番さん手作りの精進料理をお召し上がりいただきました。今年は、けんちん汁、ふろふき大根、白和え、そして香ばしい茶飯をご用意



▲茶飯、けんちん汁、白和え、ふろふき大根

意。旬の野菜をふんだんに使った手づくりの味に、参拝者からは「身体が温まる」「懐かしい味」といった声が寄せられました。
地域の皆さまとともに、祖師の恩に感謝し心を整える一日となりました。

ご参加

いただいた皆

さまに、心

より御礼

申し上げます。



本堂位牌堂の天井張替え工事を行いました

仏天蓋も元の輝きを取り戻して安置、照明もLED化で明るく

このたび、当山本堂内陣（本尊などの仏様や位牌を祀る部分）の天井の張替え工事を執り行いました。施工会社は藤田建設で、9月26日から30日にかけて行われました。

長年にわたり風雪に耐えてきた本堂の天井は、経年劣化による傷みが目立ち始め、強風が吹き荒れるとみなさまの位牌にもゴミが落ちる有様で、修繕が必要となっておりまして。これに先立ち、9月25日（木）に



▲本堂位牌堂の天井を張り替えました。照明のLED化も功を成し、明るい堂内になりました。



▲美しい輝きを取り戻した仏天蓋

遷座法要を行い、総代（責任役員）さんらによつて、本堂内陣から仏さまや位牌を運び出しました。工事完了後の10月3日（金）には再び総代さんらによつて仏さまや位牌を本堂内陣に戻していただきました。その後、住職が安座法要を行いました。

今回の工事では、古い天井板を撤去し、新しい材に張り替えるとともに、部分的な補修も行いました。新たな天井は、より明るく清らかな本堂の雰囲気演出しております。

11月17日（月）には本尊・延命地藏菩薩の上にありました仏天蓋も修復を終え、当初の

輝きが蘇って無事に元に戻りました。
おかげさまで無事に完了し、お勤めできる環境が整いました。

この工事が成就いたしましたのも、総代さまはじめ檀信徒の皆さまの温かいご理解とご協力のおかげでございます。ここに厚く御礼申し上げます。

令和8年には、本堂の天井すべての張替えを行いたく、現在総代会において協議を進めていますが、檀信徒皆さまには具体的な負担がかからないように行えればと考えています。

今後とも本堂が安らぎとご縁の場として末永く護持されますよう、引き続きのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



心を調える時間

写経のススメ

日常の喧騒から離れ、静かに自分と向き合う時間を持つてみませんか？。近年、仏教の修行の一つである写経が、単なる信仰行為としてだけでなく、心を落ち着かせるための行事としても注目を集めています。

写経とは、仏教の経典を一字ずつ丁寧に書き写すことです。一般的には「般若心経」を写すことが多いですが、妙心寺派では「白隠禪師坐禅和讃」「四弘誓願」「延命十句観音経」「微妙大師第一番の御和讃」など多数の写経用紙があります。

●写経がもたらす効果

写経は、老若男女を問わず、様々な良い効果をもたらします。

○集中力の向上（マインドフルネス）

一文字一文字に意識を集中させることで、自然と「今、ここ」に意識が向き、雑念が消え、深い集中状態に入ることができます。

○精神の安定・ストレス軽減

筆を運び、墨の香りに包まれる静謐な時間は、心を落ち着かせ、穏やかな気持ちへと導きます。自律神経が整う効果も期待され、ストレスの解消に役立ちます。

○美しい文字の練習

手本をなぞったり、見ながら丁寧に書くこ

とで、自然と文字のバランス感覚が養われ、実用的な美文字の練習にもなります。

○功德

仏様の教えを書き写すという行為そのものが、功德を積む（良い行いをする）と考えられています。願い事を込めて写経される方も多いです。

●準備も簡単！すぐに始められます

写経と聞くと、難しいイメージがあるかもしれませんが、準備はとてもシンプルです。

①筆記用具…筆ペン、または普通の筆と墨汁
②写経用紙…お手本が薄く印刷されている「なぞり書き用」が初心者にはおすすめです。

③座る環境…静かで集中できる場所
最近では、万年筆やボールペンで写経ができるキットも増えており、より手軽に始められるようになっていきます。「書く」というシンプルな行為を通じて、深い安らぎと充実感を得られるのが写経の魅力です。



【俳句】

雪起し鳴りて見上ぐる^{くら}る^る 暮き空
冬天に皇帝ダリアの花咲きぬ
冬ざれの野の一点となりし我

句集『五月晴』 著者・水縄松生

山寺の庭の落葉にしぐれ居り
山寺の細き煙や冬木立
面影を残して鉢の菊枯るる

先住・高橋英州

【短歌】

待つ人のいない空家はただ暗くただただ寒く
雪降ればなお
マスクして顔半分が隠れたら妙に気になる眉
の描きかた
白黒のテレビのような夫と吾の^{われ}日々^{ひび}に色さす
息子^この帰省

太田弘美 つくば市

【川柳】

父に似るしぐさに苦笑喜寿の春

中島英三 三木市

年末年始の願いと行事等についてお知らせ



年末年始の行事等についてお知らせいたします。

◎ 新年度の評議員について

松禪寺花園会の評議員14名については、一年で交代される地区が多いのですが、令和8年の評議員のお名前を速やかに寺へ報告して下さい。

◎ 除夜の鐘撞き

12月31日（水） おおよそ午後11時半ぐらいから除夜の鐘撞きを行います。除夜の鐘撞きに來られた方々には、「開運入浴剤」を進呈いたします。先着50名様に限ります。

◎ 新年祈禱法要

1月1日（木） 午前10時より本堂において、新年祈禱法要を行います。お参りの方にはワンカップ「寿水」を差し上げます。ただし、30本限定です。ご都合がきます方々は、是非お参り下さい。

◎ 新年挨拶受け

1月1日（木）の午前中、新年挨拶受けを本堂にて行います。参拝者にはお菓子をお持ち帰りいただきます。

◎ 年頭回礼

1月2日（金）には町内を、3日（土）には出石、豊岡、日高、和田山、福知山市、岩滝町などを廻らせていただきます。



令和八年

松禪寺



令和8年（二〇二六年）に年忌法要を迎える故人の歿年度は、次のとおりです。法要の実施日については、なるべく早めにご連絡ください。年忌正当年にあられるご先祖様がおられるかの確認は、本堂に年忌操出を貼り出していますので、寺にお越しの際にご覧いただくか、年明けには個別に通知を差し上げます。法事は故人を偲び、遺族が集う報恩感謝の大切な法要です。

【令和8年 年回表】

- 一周忌 令和7年歿
- 三回忌 令和6年歿
- 七回忌 令和2年歿
- 十三回忌 平成26年歿
- 十七回忌 平成22年歿
- 二十五回忌 平成14年歿
- 三十三回忌 平成6年歿
- 五十回忌 昭和52年歿
- 百回忌 昭和2年歿